

釧路南ロータリークラブ会報

第25回 例会報告 2018.1.26 通算1708回

・点 鐘 上川原会長

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 寺口 美由紀会員

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

社会医療法人孝仁会 法人本部経営企画部担当部長
釧路孝仁会記念病院 再生医療室部長

白水 郁也様

社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院 事務部
健診事業部 担当部長 小林 玲子様

・結婚祝

森江 洋之会員 H6. 1. 29 (24年目)

・会長挨拶



みなさん、こんにちは！会長挨拶をさせていただきます。今日は釧路孝仁会から白水様、小林様にお忙しい中、お越しいただきました。これからの医療として注目されております再生医療に関する講話させていただきます。白水様、宜しくお願ひ致します。

医学に詳しいお二方がお越しいただいておるのにこんな話をするのもおかしいのですが、先週の会長挨拶でインフルエンザが12月の末より急激に流行

してきているとお話しましたが、今週、インフルエンザの患者数が128万人で過去最高になってしまったと記事がでておりました。「隠れインフルエンザ」も影響していると・・・症状が軽いといっても注意をしてください。手洗い、うがい、マスク着用、加湿もしっかり行うことが予防につながりますので、皆様、健康管理には十分気をつけましょう。

・幹事報告



* 北海道四季劇場よりミュージカルのご案内が届いております。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

森江 洋之会員 結婚祝として



親睦委員会報告 早津会員

・本日のプログラム

「 職業奉仕月間に因んで 」

担当 職業奉仕委員会

◆長江勉職業奉仕委員長



◆考仁会白水再生医療室部長

再生医療について卓話



《再生医療》

病気やけがで失われた臓器や組織を再生させる医療。患者本人の未分化細胞の培養などによって、人体の部品をつくる。従来の臓器移植では避けられなかった拒絶反応の心配がない。ほとんどの細胞に分化できる可能性があることから、万能細胞ともよばれる胚（はい）性幹細胞（ES細胞）の出現で、可能性が高まった。再生医療の研究は各国で行われているが、日本でも盛んである。2000年（平成12年）春には東京女子医科大学の新岡俊治らのグループが、患者の血管細胞と人口材料でつくった再生血管移植手術を行い、奈良県立医科大学の吉川隆章らは、やけどをした患者の骨髄細胞を培養して皮膚をつくるのに成功した。また東京医科歯科大学など7施設共同で、土台となる溶ける繊維に骨髄細胞をつけてあごの骨を再生する臨床試験が行われるなどした。2007年11月には京都大学再生医科学研究所の山中伸弥らが、人の皮膚細胞から万能細胞の一つである人工多能性幹細胞（iPS細胞）を作製することに成功し、万能細胞を使った再生医療がにわかに関心度を増してきた。



長江会員とゲストの皆様



・次回のプログラム

2月2日（金）

「 ゲスト講話 」

会場 ホテルクラウンヒルズ釧路 12:30～

担当：広報メディア委員会

・点 鐘 上川原会長

今週の会報担当：早津壮史会員